

税

中学生の入賞作品紹介

二〇二六年の四月から、法人税(たばこ税など)が「防衛関係費」のために増税されると聞いた。防衛関係費は国の歳出総額の中で四番目に高い割合だが、私は国の防衛の費用という事しかわからない。そもそも、戦争をしないと誓った日本は防衛を強める必要があるのだろうか。法人税は、将来、私が働くようになったときにも身近に関わる税金だ。増税するからには、私たちに良い影響があることにお金を使ってほしいと思う。そのため、防衛関係費

◆国税庁長官賞

船橋市立七林中3年

星 実花

安心を守る税金

は私たちとどのように結び
ついているのか調べてみよ
うと思った。

防衛省・自衛隊のサイト
によると、この税金は自衛
隊員の入件・糧食費や燃
料、新しい装備品の購入な
どに使われているらしい。
費用の使い道は納得できた

ことで、日本に攻めること
を思いとどまらせることが
一番重要だということだ。

私の住んでいる地域には
自衛隊の駐屯地で毎年開
催される夏まつりがある。
多くの人が訪れ、自衛隊員
の方々による和太鼓の演
奏はとても迫力があって大
人気だ。しかし、何年か前
に、この和太鼓の演奏は「税
金の無駄」なのではないか
と意見した人がいたらし
い。

が、なぜ災害時などではな
いの増税するのは疑問
のままだった。しかし、読
み進めると、自衛隊は国の
「抑止力」を守っていると
いう文を見つけた。抑止力
とは、「攻めさせない力」
だ。今の日本の平和な状況
が崩れることを未然に防ぐ
ためには、強い武器を持つ

事実、この演奏は防衛関
係費の内の広報・募集活動
費、つまり私たちの税金で
支えられている。しかし、
私はこのような使い道もま
た、国民を守るために使わ
れていると思う。
私は和太鼓の演奏を聞き
たときその力強さから「こ
の人たちなら緊急事態でも
た」と安心することができ
た。この活動は、地域の人
々と交流し、災害などが起
きた時に信頼してもらった
めに行われていると思う。
きっと私は、緊急時に知ら
ない人しかいなかったら怖
くて信用できない。しかし、
自衛隊の迷彩が見えれば安
心がぐっと高まるだろう。
防衛関係費は災害時だけで
なく普段の生活でも安心を
与えてくれる。「安心を守
る」税金の使い道だとわか
った。
普段は意識しないとい
くても、税金は私たちの安
全や安心に役立っている。
これからは税金の使い方を
知り、納めることの意味を
考えて納税したいと思っ
た。